

プラザニュース

(c)1999 Atsugi City Multimedia Volunteer

〒243-0021 厚木市岡田 3050 情報プラザ Tel 046-220-2711



通話料 と データ通信料 まるわかり!

スマホは電話できたりメールや地図などが使えたりとても便利です。でも、電話とアプリでは相手に届く方法も料金体系も違うということはお分かりでしょうか？ここがわかれば料金の節約に役立つかもしれません。

スマホの料金は主に「通話料」「データ通信料」「オプション利用料」「端末代」の4つに分けられます。電話は「通話料」アプリの使用は「データ通信料」になります。今回はこの中で「通話料」と「データ通信料」について説明します。

この2つは、通るルート（道順）も料金体系も異なります。まずは仕組みの違いをみてみましょう。

通話料とは

通話料とは、いわゆる電話代のことで、仕組みは家庭で契約している固定電話と同じです。相手のスマホまでのルートを通話回線に確保した後、そのルートを使って音声が届きます。そのルートには他の人の音声は通りません。初期の電話は電話交換手が手でルートを作っていました。それが自動に変わっただけで仕組みは大きくは変わっていません。

通話料はルートに占有する時間（30秒で20円など）で料金が決まります。電話をかけたときに送り手だけに料金がかかりますのでとてもわかりやすいです。



☆通話アプリは無料で通話できるの？

LINEなどのアプリには通話機能があります。通話料はかかりませんがデータ通信料がかかりますので注意してください。電話の場合は送り手だけに料金がかかり受け手は無料ですが、通話アプリの場合は受け手にも送り手と同じだけの容量が使われます。

スマホの料金を安くする方法は？

「通話料」「データ通信料」「オプション利用料」のうち自分はどれにお金がかかりすぎているかなどを探っていくのもひとつの解決方法だと思います。また、家にWi-Fiがある場合はスマホをWi-Fiにつないでおくとデータ通信料がかからないのでお得です。アプリのアップデートや動画の視聴などは家で行うと料金の節約につながるかもしれませんね。

データ通信料とは

データ通信料とは、いわゆるインターネット接続料のことで、仕組みは家庭で契約しているインターネットと同じです。パケット（小包）とよばれる小さなまとまり（日本語の文字なら64文字相当）に分けてデータ通信回線を送ります。ルートは共有でパケットごとに道順は異なり、相手先では送られてきたパケットを元通りに並べかえます。写真なども同様で、例えるなら送り側ではジグソーパズルのように細かく分ける作業をして別々のルートで送り、受け側では送られてきたジグソーパズルを元の状態に戻す作業を行います。ルート上には世界中のパケットが行き来しています。

データ通信料は月初めに契約した容量を1ヶ月間で使っていきます。メールは文字だけの場合と写真などを添付したときでは容量が変わります。さらに、送り手だけでなく受け手にも通信料がかかります。またアプリのアップデートなどで多くの容量が使われることがあります。



☆ショートメール（SMS）は？

ショートメールは短い文章をメールの様に送るサービスですが、「通話料」を使います。「SMS送信料」と明細に記載されることがあります。

☆災害時につながりにくくなるのはなぜ？

通話やデータ通信はルートを多くの方が使用し、一度に利用できる人数には限りがあるためつながりにくくなります。

いかがでしたか？スマホの料金について理解していただく一助になれば幸いです。スマホの使い方など「わからない」や「こんなことしたい」があったらマルボラの手ほどきをご利用ください。



マルボラからのご案内

マルボラの講座や手ほどきはすべて無料です。
場所は、情報プラザです。

「土曜のパソコン講座」と「パソコンの手ほどき」は、開催月の前月1日から電話で受け付けています。

電話予約の時に「マルボラのパソコン講座」、「マルボラの手ほどき」とお伝えください。一回ごとのお申し込みとなります。申込後のキャンセルは、早めに連絡をしてください。

パソコンの手ほどき

日 時：毎週木曜日と土曜日の 10 時～12 時
定 員：木曜日 10 名、土曜日 4 名（4 回まで）

手ほどきは、希望する内容を受講希望者のレベルに合わせてマルボラが個別レッスンを行います。また 2～3 名のグループレッスンも可能です。

*希望受講日の前日正午に締め切ります。5 回以上の受講希望者は、お断りする場合があります。

《申し込みは電話で、情報プラザへ》

☎：046-220-2711

土曜のパソコン講座

日 時：毎週土曜日の 10 時～12 時
定 員：16 名（何回でも受講できます）

これからパソコンを始めようと考えている方が、基礎的な操作方法を学ぶための講座です。

講座日程

	2月	3月	4月
文書作成 (応用)	(文書の体裁) 2日	(チラシ) 2日	(表の活用) 6日
パソコンの基礎	9日	9日	
表計算の基礎			13日
インターネット	16日	16日	20日
表計算	(現金出納帳) 23日	(基礎) 23日	(予定表) 27日

*4月より「土曜のパソコン講座」の順番が変わります。

木曜の実習教室（連続基礎講座）

日 時：木曜日の 10 時～12 時（年間計 8 回実施）
定 員：6 名（開講日に連続して出席できる方）

市販のテキスト（受講者は最寄りの書店でテキストを購入していただきます）を使用して、ワードやエクセルの基礎をしっかりと学びます。

*内容と申し込み受付開始日は、ポスター等でお知らせします。開講初日の 3 週間前を予定しています。

日 程：「エクセルの基礎」 2月 28 日より（5 週連続）
「ワードの基礎」 4月 18 日より（5 週連続）

質問・相談コーナー

日 時：毎週土曜日の 10 時～12 時

予約は不要です。質問・相談など（15 分程度）がある場合には、直接おいでください。

コラム

始めました「スマホ決済」



プラザニュース 110 号で、キャッシュレスについての特集記事があったが、日本ではまだクレジットカードかおサイフケータイがほとんどのことでした。最近スマホで二次元バーコードやバーコードを使って決済することができるアプリが 10 種類以上使われるようになってきたので、新年を機に試してみることにしました。

自宅近くの店で使えるアプリを 3 つ選びダウンロードしました。

1 つ目はコジマで使える「PayPay」。クレジットカードか銀行口座を登録してチャージするプリペイド方式です。

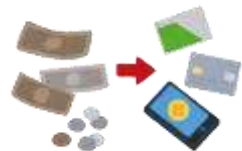
2 つ目はローソンや吉野家で使える「Origami Pay」。同じくクレジットカードか銀行口座を登録して、購入時に口座から引き落とされる後払い方式。

3 つ目は「LINE Pay」。銀行口座を登録してチャージするプリペイド式ですがまだ決済に使用したことはありません。

それぞれのスマホ決済の仕方には二次元バーコードを読み込む方法とバーコードを読み取ってもらう方法が選択できますが、バーコード読み取り式の方がスマホの画面を見せるだけでいいので使い易いです。なお管理面から言えばクレジットカード一つに紐づけた方が、クレジットカードで支払った分と一緒にチェックでき、管理し易いと思います。

現在はアプリ普及のためにいろいろポイントサービスや割引サービスがあります。また、行ったお店で使えるかどうか調べる必要があります。

なお、カード式のポイントカードもスマホに登録して、持ち歩くカードを少なくしてみました。お客さんが並んでいるようなところでは、まだアプリを使い慣れていないため、他の方の迷惑になりそうなので使えません。（マールおじさん）



スマホ（タブレット）アプリのご紹介

「こえとら」と「スピーチキャンパス」この 2 つのアプリは聴覚障害者と健聴者とのスムーズなコミュニケーションを音声認識技術を使って支援するアプリです。手書きにも対応しています。聞こえにくい方や聞き取りにくくなってきた人との会話でも活用できます。

